

窪田芳樹, 松井俊二郎, 井上恭一, 佐々木 博, 若木邦彦, 小泉富美朝: 急速な経過を呈した多発性神経炎と内分泌異常を伴う Plasma cell dyscrasia (高月病) の 1 例. 日本血液学会昭和57年度東海・北陸合同地方会, 1982, 11, 金沢.

14) 小泉富美朝: 扁桃と免疫. 日本医師会医学講座, 1982, 11, 富山.

病 理 学(寄生虫学)

助 教 授 上 村 清
教 務 員 丸 山 由紀子

◆ 原 著

1) 上村 清, 渡辺 護: 富山県のある水田における蚊幼虫分布様相の一検討. 衛生動物 33: 51-54, 1982.

2) 渡辺 護, 上村 清: コガタアカイエカの最近の増加傾向について. 富山県衛生研究所年報(昭和56年度): 33-36, 1982.

3) Kamimura K., Okazawa T., Inaoka T., Suzuki T. and J. O. Ochoa A.: Field trials of temephos formulae for the control of blackfly larvae in Guatemala. Japan J. T. M. H. 10: 173, 1982.

◆ 総 説

1) 丸山由紀子, 荻田善一: 家系資料による遺伝子分析—遺伝子座間の連鎖の証明, 浸透率の計算法, 遺伝子頻度の推定法, 突然変異率の推定法—. 代謝 19: 50-61, 1982.

◆ そ の 他

1) 丸山由紀子, 上村 清: 有機リン剤抵抗性チカイエカのエステラーゼザイモグラム. 衛生動物 33: 172, 1982.

2) 上村 清, 丸山由紀子, 渡辺 護: 蚊発生消長に及ぼす稲作管理の影響について. 衛生動物 33: 172, 1982.

3) 丸山由紀子, 上村 清, 安富和男: 薄層寒天電気泳動法によるチカイエカ・エステラーゼアイソザイムの解析. 衛生動物 33: 270, 1982.

4) 上村 清, 児玉博英: 立山のライチョウに寄生のコクシジウムについて. 寄生虫学雑誌, 31: 8, 1982.

5) 吉村裕之, 近藤力王至, 大西義博, 赤尾信明, 室井早苗, 上村 清, 山田 修, 芦原百合子, 大川静子: 北陸地方における小児蟯虫症の疫学と駆虫成績. 寄生虫学雑誌 31: 23, 1982.

6) 上村 清, 岡沢孝雄, 稲岡 徹, 鈴木 猛, J. O. Ochoa A.: グアテマラにおけるブユ幼虫駆除のためのアベイト剤型に関する野外実験. 日本熱帯医学会雑誌 10: 109, 1982.

7) 上村 清: 北陸における衛生動物の推移. 北陸と公衆衛生 16: 38, 1982.

8) Maruyama Y., Kamimura K. and Yasutomi K.: Analysis of esterase isozymes in *Culex pipiens molestus* by thin layer agar gel electrophoresis. AKAIEKA NEWSLETTER 7: 6, 1982.

9) 丸山由紀子: からだの365日—才能はつくるもの, 若ハゲは遺伝のおそれあり—. 「健康歳時記」水野 肇監修, 314, 492, 三宝出版, 1982.

10) 常楽武男, 上村 清, 水野 透, 中川秀幸, 大野豊, 瀬川哲夫, 田中忠次, 渡辺 護, 山中 浩: 特別展富山に生きる昆虫たち. 1-16, 富山市科学文化センター, 1982.

◆ 学会報告

1) 上村 清: 農業慣行の変化と日本脳炎発生減少との関係. 日本学術会議植物防疫研究連絡委員会主催シンポジウム「衛生害虫と農業との相互関係」, 1982, 1, 東京.

2) 丸山由紀子, 上村 清, 安富和男: 薄層寒天電気泳動法によるチカイエカ・エステラーゼアイソザイムの解析. 第34回日本衛生動物学会大会, 1982, 6, 帯広.

3) Maruyama Y., and Kamimura K.: Comparative studies on esterase isozymes in organophosphate-resistant mosquitoes, *Culex pipiens*. The 4th International Congress on Isozymes, 1982, 6, Austin (Texas).

4) 上村 清: 疫学調査のための蚊生態学. 第37回日本衛生動物学会西日本支部大会パネルディスカッション「蚊とウィルス学の方法・手技」, 1982, 10, 神戸.

細 菌 学 ・ 免 疫 学

教 授 小 西 健 一
助 教 授 山 岸 高 由
助 手 桜 井 信 也
助 手 坂 本 憲 市
助 手 林 君 枝
文部技官 井 上 裕美子

◆ 原 著

1) Namba T., Hattori M., Tsunozuka M., Yamagishi T. and Konishi K.: Studies on dental caries prevention by traditional chinese medicines. Part III. In vitro susceptibility of a variety of bacteria to Magnolol and Honokiol, the components of Magnoliae cortex. Shoyakugaku Zasshi 36: 222-227, 1982.

2) 吉国桂子, 小西健一: 濁度反応による便脂肪定量. 衛生検査 31: 682-686, 1982.

3) 光戸 勇, 大槻典男, 佐野 勉, 金原武司, 山岸高由, 尾角信夫: Mycobacterium fortuitum になる皮下膿瘍. 皮膚臨床 24: 605-609, 1982.

4) 吉国桂子, 小西健一: 電極法による尿糖定量. 衛生検査 31: 1438-1442, 1982.

◆ 学会報告

1) 山岸高由, 桜井信也, 坂本憲市, 久保義博, 小西健一, 刑部陽宅: Clostridium perfringens C型菌の毒素原性. 第55回日本細菌学会総会, 1982, 4, 東京.

2) 桜井信也, 坂本憲市, 山岸高由, 小西健一: マウスにおけるハプテン化細胞投与による接触性皮膚炎発現と抗体産生の抑制. 第55回日本細菌学会総会, 1982, 4, 東京.

3) 小西健一, 山岸高由, 坂本憲市, 大門良男, 松田正毅, 桜川信男: 本院で経験した Salmonella typhimurium 食中毒例について. 第36回北陸医学会総会, 1982, 9, 富山.

4) 山岸高由, 久保義博, 坂本憲市, 桜井信也, 林 君枝, 小西健一, 大門良男, 松田正毅, 刑部陽宅: Clostridium perfringens による食中毒例と本菌のエンテロトキシン産生性について. 第36回北陸医学会総会, 1982, 9, 富山.

5) 大門良男, 角田美鈴, 松田正毅, 桜川信男, 山岸高由, 小西健一: デスクトップタイプのコンピュータを利用した細菌検査成績の統計処理について. 第29回日本臨床病理学会総会, 1982, 10, 岐阜.

6) 桜井信也, 小西健一: マウスにおけるハプテン化細胞投与による接触性皮膚炎発現の抑制 (その3). 第19回日本細菌学会中部支部総会, 1982, 11, 名古屋.

7) 山岸高由, 久保義博, 坂本憲市, 林 君枝, 小西健一, 刑部陽宅: Tórtora の培地における Clostridium perfringens のエンテロトキシン産生性について. 第19回日本細菌学会中部支部総会, 1982, 11, 名古屋.

8) 桜井信也, 林 君枝, 坂本憲市, 山岸高由: 接触性皮膚炎の抑制について. 第29回日本結核病学

会・第18回日本胸部疾患学会・第3回日本気管支学会合同北陸地方会, 1982, 11, 富山.

ウ イ ル ス 学

教 授 庭 山 清八郎
助 教 授 落 合 宏
助 手 林 京子
助 手 宗 像 周二
— 文部技官 中 川 明 夫

◆ 著 書

庭山清八郎: ウイルスの分類, 18-22, 抗ウイルス化学療法剤, 329-331, バクテリオファージの性状, 396-397, バクテリオファージの増殖, 397-399, マイコプラズマ類, 486-491, リケッチア類, 491-499, クラミジア科, 497-500, ウイルス, 500-586, 原生動物 (原虫), 621-634, 「微生物学」, 新井正編, 第2刷, 廣川書店, 1982.

◆ 原 著

1) Niwayama S.: Antigenic structure of influenza virus by HI test. Acta Medica et Biologica 29: 59-69, 1982.

2) 庭山清八郎, 落合 宏, 林 京子: インフルエンザウイルス HA の細胞に及ぼす影響について. 乳酸菌研究会に関する報告書, 昭和56年度: 236-238, 1982.

3) 芝田充男, 岡尾勇一, 上村 桂, 庭山清八郎, 落合 宏, 岩瀬勇雄: A型インフルエンザウイルスの NA 抗原分析—N₁ 型ウイルスの交差 NI 試験成績—. 臨床とウイルス 10: 41-45, 1982.

◆ そ の 他

1) 佐藤征也, 元田昭策, 落合 宏, 庭山清八郎, 芝田充男, 徐 慶一郎, 岩瀬勇雄: SRCF によるマイコプラズマの血清学的診断法. 日本細菌学会雑誌 37: 567, 1982.

2) 芝田充男, 岡尾勇一, 庭山清八郎, 落合 宏, 岩瀬勇雄: インフルエンザウイルスの NA 抗原分析—N₁ 型ウイルスの交差 NI 試験成績—. 日本細菌学会雑誌 37: 574, 1982.

3) 林 京子, 庭山清八郎, 落合 宏, 元田昭策, 佐藤征也, 岩瀬勇雄, 芝田充男: インフルエンザウイルス HA の細胞に及ぼす影響について. 日本細菌学会雑誌 37: 574-575, 1982.

4) 芝田充男, 阿部昭也, 庭山清八郎, 落合 宏, 岩瀬勇雄: 1981年分離の swine 型のインフルエンザウイルスとブタの抗体調査成績. 日本細菌学会雑誌